

東京SR経営労務センターの会員、従業員、そのご家族の皆様は、次の料金で各種“人間ドック検査”をお受けになることができます。

コース別料金表

(単位：円 消費税込)

コース	種別	主な内容	受付	所要時間	一般料金	S R 提携料金	★特定健診対応コース
① 日帰り人間ドック		胸部・胃部レントゲン・腹部エコー・心電図・血液検査 等	午前 午後	2~3時間	47,250	38,850	○
② MRI 脳ドック		頭部 MRI・頸部エコー・ABI・心電図・血液検査 等	午後	1.5~2時間	47,250	42,000	○
③ MRI 脳ドック ライトコース*		頭部 MRI・頸部エコー・ABI 等	午後	1~1.5時間	33,600	28,350	
④ 総合ドック (①+③)		日帰り人間ドック項目に頭部 MRI・頸部エコー・ABI をセットしました。	午前 午後	2.5~3時間	75,600	63,000	○
⑤ MRI レディースドック		骨盤 MRI・乳腺エコー・婦人科細胞診・血液検査 (腫瘍マーカー含む) 等	午後	1.5~2時間	52,500	47,250	
⑥ MRI レディースドック ライトコース*		骨盤 MRI・乳腺エコー・ドクター内診、細胞診 等	午後	1~1.5時間	36,750	33,600	
⑦ レディース総合ドック (①+⑥)		日帰り人間ドック項目に骨盤 MRI 等 婦人科系検査をセットしました。	午前 午後	2.5~3時間	78,750	69,300	○

※各種ライトコース受診にあたっては、過去1年以内に受診された血液検査・心電図検査の結果を含む健康診断結果票が必要です。お手元がない場合はお申込になれません。

★特定健診とは、40歳から75歳未満の方を対象とした、公的医療保険加入者全員に実施する生活習慣病予防健診で、いわゆるメタボ健診といわれているものです。対応コースでは、その項目をすべて含んでおります。

☆☆ 検査内容その他オプション等、詳しくは神田クリニックホームページをご覧ください。☆☆

<http://www.kanda.or.jp/>



神田クリニック全景

■周辺地図



JR神田駅西口より徒歩3分
 東京メトロ銀座線神田駅1番出口より徒歩5分
 東京メトロ丸の内線大手町駅A2出口より徒歩5分

お申し込みの手順

1 下記申込票にご記入の上、『神田クリニック』へFAXしてください。

FAX 03 - 3252 - 1058

2 お申込後、『神田クリニック』より日時のご予約等につきご連絡致します。
また、受診資料を郵送致します。【第2・4（土）、（日）、祝祭日は休診】

3 受診をされた際に、所定の料金を『神田クリニック』にお支払いください。

東京SR専用申込書					** このページをそのままFAXしてください。 **						
事業所名											
事業所住所	〒				電話	()					
					FAX	()					
受診申込者氏名		生年月日		性別	申込コース(○で囲む)			受診希望日			
<small>フリガナ</small> 漢字		T・S・H 年 月 日		男 ・ 女	1 日帰り人間ドック 2 MRI 脳ドック 3 MRI 脳ドック ライトコース 4 総合ドック 5 MRI レディースドック 6 MRI レディースドック ライトコース 7 レディース総合ドック			第一希望 /			
<small>住所（会社・自宅） ※検査資料等の送付先</small> 〒								第二希望			
<small>※日中連絡のとれる番号</small> 電話番号 ()					<small>※設置があれば記入下さい</small> FAX ()					/	
受診申込者氏名		生年月日		性別	申込コース(○で囲む)			受診希望日			
<small>フリガナ</small> 漢字		T・S・H 年 月 日		男 ・ 女	1 日帰り人間ドック 2 MRI 脳ドック 3 MRI 脳ドック ライトコース 4 総合ドック 5 MRI レディースドック 6 MRI レディースドック ライトコース 7 レディース総合ドック			第一希望 /			
<small>住所（会社・自宅） ※検査資料等の送付先</small> 〒								第二希望			
<small>※日中連絡のとれる番号</small> 電話番号 ()					<small>※設置があれば記入下さい</small> FAX ()					/	
受診申込者氏名		生年月日		性別	申込コース(○で囲む)			受診希望日			
<small>フリガナ</small> 漢字		T・S・H 年 月 日		男 ・ 女	1 日帰り人間ドック 2 MRI 脳ドック 3 MRI 脳ドック ライトコース 4 総合ドック 5 MRI レディースドック 6 MRI レディースドック ライトコース 7 レディース総合ドック			第一希望 /			
<small>住所（会社・自宅） ※検査資料等の送付先</small> 〒								第二希望			
<small>※日中連絡のとれる番号</small> 電話番号 ()					<small>※設置があれば記入下さい</small> FAX ()					/	
受診申込者氏名		生年月日		性別	申込コース(○で囲む)			受診希望日			
<small>フリガナ</small> 漢字		T・S・H 年 月 日		男 ・ 女	1 日帰り人間ドック 2 MRI 脳ドック 3 MRI 脳ドック ライトコース 4 総合ドック 5 MRI レディースドック 6 MRI レディースドック ライトコース 7 レディース総合ドック			第一希望 /			
<small>住所（会社・自宅） ※検査資料等の送付先</small> 〒								第二希望			
<small>※日中連絡のとれる番号</small> 電話番号 ()					<small>※設置があれば記入下さい</small> FAX ()					/	

ライトコースは、すでに健診や人間ドックを受診された方などが、MRI検査を気軽に受けられるようにご用意しました。受診にあたっては、過去1年以内に受診された血液検査・心電図検査の結果を含む健康診断結果票が必要になります。お手元がない場合は、通常のコースを選択してください。

健康管理、応援します!!

～生活習慣病の予防から脳ドックまで～

この度「東京SR経営労務センター」では、神田クリニック（東京都千代田区）との提携により各種人間ドックを会員、従業員、そのご家族の皆様にご一般価格よりお安くご利用いただけるように企画致しました。高齢化社会を迎えた現在、「生活習慣病」（癌、脳卒中、心臓病、肝疾患など）や、婦人科疾患の早期発見と予防のために、この機会に人間ドックを受診され、健康状態をチェックしてみたいかがでしょうか。

＝ 最新のMRI装置にて検査が受けられます ＝

提携先の神田クリニックには最新の1.5テスラMRI装置が備わっています。

2012年5月に導入されたばかりのオランダ・フィリップス社製の装置で、従来の機種よりも高画質、高精度の画像（写真）を得ることができます。

従来型の脳ドックやMRIレディースドックに加え、2012年10月には「心臓ドック」がメニューに加わり、心臓のMRI検査もお受けになることができます。ご期待ください。

＝ 脳ドック、レディースドックの検査内容充実を図りました! ＝

脳ドックでは年々増え続ける循環器系疾患（脳卒中、心臓梗塞など）の発症リスクをより早く正確に発見するため、昨年はオプション扱いであった頸動脈エコーとABI検査（動脈硬化の程度測定）を必須検査項目としました。その結果、より総合的な診断が可能となりました。

また、レディースドックでは医師による内診と細胞診採取を充実させ、検査精度をアップさせています。

MRI 検査とは

MRI 検査とは Magnetic Resonance Imaging の略称で、日本語では核磁気共鳴画像と云われています。“磁石”と“電波”の力を利用して『からだの中』の写真撮る、ちょっと不思議な検査です。エックス線（放射線）は使いません。

検査の方法は、検査台の上に横になっていただき、あとは動かずにじっとしているだけです。撮影の際には工事現場のような大きな音がしてきてうるさいのですが、痛みなどは一切ありませんのでリラックスして検査をお受けください。



大きな強い磁石でできたドームの中に検査台ごと入って撮影します。

MRI 検査でわかること

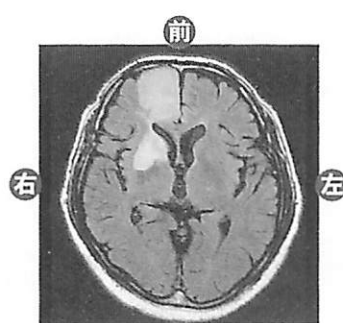
脳梗塞の診断、脳腫瘍の発見、脳血管の異常（動脈瘤、狭窄など）の有無をチェックします。

皆様が毎年実施されている健康診断だけでは、頭の病気はなかなか発見できません。頭痛、めまい、ふらつきなどの症状があるようでしたら、検査されてはいかがでしょうか？

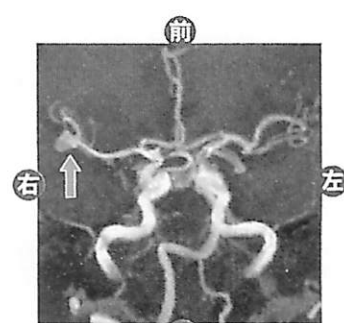
女性の婦人科系疾患（子宮癌、卵巣腫瘍、不正出血など）では、その病態や症状において個人差がかなりあります。したがって、MRI による画像診断も重要な役割を担ってまいります。

不正出血や下腹部痛などの症状があれば検査をお勧めいたします。

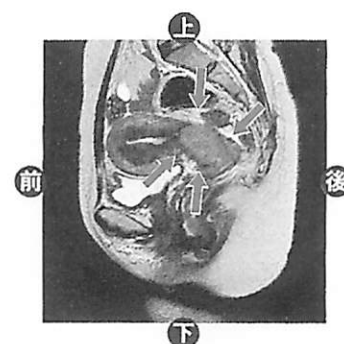
2012年10月から心臓のMRIドックも実施予定です。



(出血性脳梗塞例)



(動脈瘤例)



(子宮頸癌例)

今、注目のABI検査（動脈硬化検査）

血圧脈波検査装置では、動脈硬化の程度（血管年齢）や血管の詰まり具合が測定できます。

動脈硬化を放っておくと脳や心臓などに大きな負担を与え、様々な障害を引き起こします。40才以上で高血圧、高脂血症（脂質異常症）、肥満、冷感やしびれ感のある方は、早めに検査を受けられ、予防に努めてください。動脈硬化は、加齢によって誰にでも起こり、その進展には食生活や運動不足などの生活習慣が大きく関連しています。大きな病気にかからないためには早期発見と生活習慣の改善が何よりも大切です。まずご自身の“血管年齢”を知ることから始めましょう！